

Ⅲ 調査結果

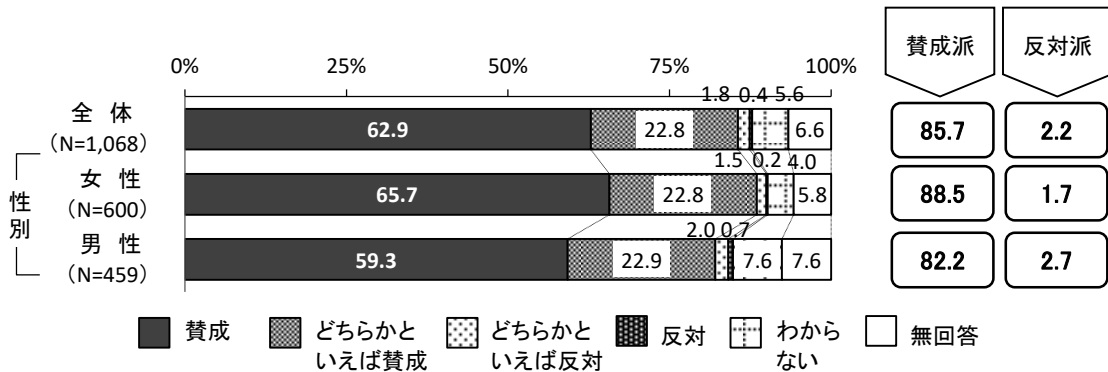
3. 子どもと教育について

(1) 子どもの育て方に関する考え方

問6. あなたは、子どものしつけや教育について、どのような考え方をお持ちですか。次の①から③のそれぞれについて、あなたのお考えに近いものを選んでください。子どものいない人も、一般的にどう思われるかお答えください。
(○印はそれぞれ1つずつ)

①女の子も男の子と同等に経済的に自立できるよう職業人としての教育が必要だ

図表3-1 女の子も男の子と同等に経済的に自立できるよう職業人としての教育が必要だ
[全体、性別]



子どものしつけや教育についての考え方をたずねた。「女の子も男の子と同等に経済的に自立できるよう職業人としての教育が必要だ」について「賛成」が62.9%、「どちらかといえば賛成」が22.8%でこれらをあわせた『賛成派』は85.7%に対し、「反対」(0.4%)と「どちらかといえば反対」(1.8%)をあわせた『反対派』は2.2%とわずかである。「わからない」は5.6%である。

性別でみると、女性の『賛成派』(女性88.5%、男性82.2%)は男性よりも6.3ポイント高く、そのうち積極的な「賛成」は65.7%と約3分の2を占めている。

3. 子どもと教育について

年代別でみると、女性は『賛成派』が年代の低い層で割合が高くなる傾向があるが、男性は反対に年代が高い層で高い傾向がみられる。ただし、女性の20代の積極的な「賛成」は68.6%と30代から50代の7割半ばと比べると5ポイント前後低い。

性別役割分担意識別でみると、男女とも性別役割分担に反対する人の方が『賛成派』の割合が高いが、どちらかといえば賛成の人でも『賛成派』は8割半ばである。

図表3-2 女の子も男の子と同等に経済的に自立できるよう職業人としての教育が必要だ

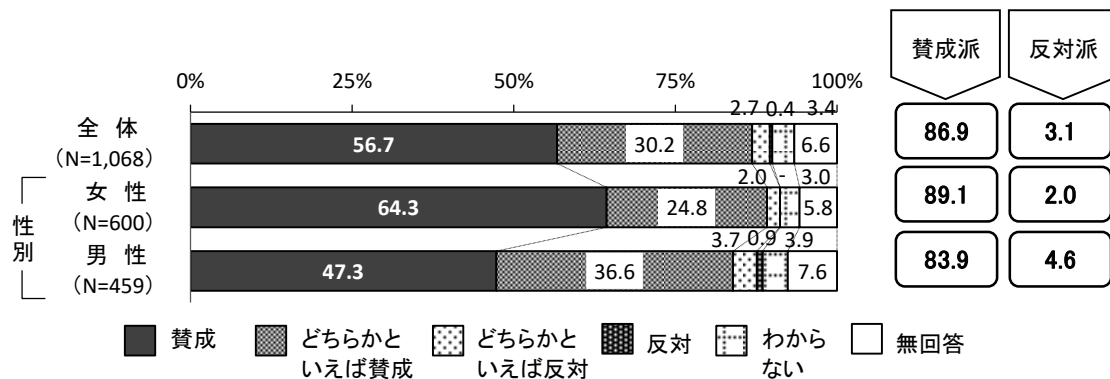
[全体、年代別、性別役割分担意識別]

		標本数	賛成	いど えち ばら か 成と	いど えち ばら 反 か と	反 対	わ か ら な い	無 回 答	賛 成 派	反 対 派
全 体		1,068 100.0	672 62.9	243 22.8	19 1.8	4 0.4	60 5.6	70 6.6	915 85.7	23 2.2
年 代 別	女性:20代	51	68.6	31.4	-	-	-	-	100.0	-
	女性:30代	68	73.5	19.1	-	-	4.4	2.9	92.6	-
	女性:40代	75	74.7	18.7	2.7	-	4.0	-	93.4	2.7
	女性:50代	93	74.2	18.3	3.2	-	1.1	3.2	92.5	3.2
	女性:60代	146	58.9	28.8	1.4	-	7.5	3.4	87.7	1.4
	女性:70代以上	153	58.8	20.3	1.3	0.7	3.9	15.0	79.1	2.0
	男性:20代	44	50.0	29.5	-	-	6.8	13.6	79.5	-
	男性:30代	42	61.9	11.9	4.8	-	16.7	4.8	73.8	4.8
	男性:40代	71	56.3	25.4	4.2	1.4	5.6	7.0	81.7	5.6
	男性:50代	82	56.1	30.5	-	-	9.8	3.7	86.6	-
	男性:60代	107	62.6	20.6	0.9	-	6.5	9.3	83.2	0.9
	男性:70代以上	101	61.4	19.8	2.0	2.0	5.9	8.9	81.2	4.0
	無回答	35	65.7	20.0	5.7	-	2.9	5.7	85.7	5.7
性 別 役 割 分 担 意 識 別	女性:賛成	18	61.1	11.1	5.6	-	5.6	16.7	72.2	5.6
	女性:どちらかといえば賛成	137	55.5	29.9	2.9	-	5.1	6.6	85.4	2.9
	女性:どちらかといえば反対	208	69.2	25.5	1.0	-	1.4	2.9	94.7	1.0
	女性:反対	162	77.8	13.0	1.2	-	1.9	6.2	90.8	1.2
	女性:わからない	74	48.6	27.0	-	1.4	13.5	9.5	75.6	1.4
	男性:賛成	20	35.0	25.0	10.0	5.0	10.0	15.0	60.0	15.0
	男性:どちらかといえば賛成	149	59.7	26.8	2.0	0.7	3.4	7.4	86.5	2.7
	男性:どちらかといえば反対	126	62.7	19.8	2.4	-	7.1	7.9	82.5	2.4
	男性:反対	76	73.7	14.5	1.3	1.3	5.3	3.9	88.2	2.6
	男性:わからない	83	47.0	27.7	-	-	16.9	8.4	74.7	-
	無回答	15	60.0	13.3	6.7	-	13.3	6.7	73.3	6.7

Ⅲ 調査結果

②男の子も女の子も同等に炊事・掃除・洗濯など、生活に必要な技術を身につけさせる方がよい

図表 3-3 男の子も女の子も同等に炊事・掃除・洗濯など、生活に必要な技術を身につけさせる方がよい〔全体、性別〕



「男の子も女の子も同等に炊事・掃除・洗濯など、生活に必要な技術を身につけさせる方がよい」について、「賛成」は56.7%、「どちらかといえば賛成」が30.2%で『賛成派』は86.9%に対し、「反対」(0.4%)と「どちらかといえば反対」(2.7%)をあわせた『反対派』は3.1%とわずかである。積極的な「賛成」の割合は経済的自立を目指す教育よりも6.2ポイント低い。「わからない」は3.4%である。

性別でみると、女性の『賛成派』(女性89.1%、男性83.9%)は男性よりも5.2ポイント高く、そのうち積極的な「賛成」は64.3%と約3分の2を占めている。女性の積極的な「賛成」の割合は、経済的自立を目指す教育と同程度であるが、男性の積極的な「賛成」(47.3%)は経済的自立を目指す教育よりも12ポイント低くなっている。

年代別でみると、女性は年代が低い層で『賛成派』の割合が高く、また積極的な「賛成」も年代が低い層で高い。男性は20代で『賛成派』が77.3%と最も低いが、積極的な「賛成」は20代と30代で5割を超えて他の年代に比べて高くなっている。

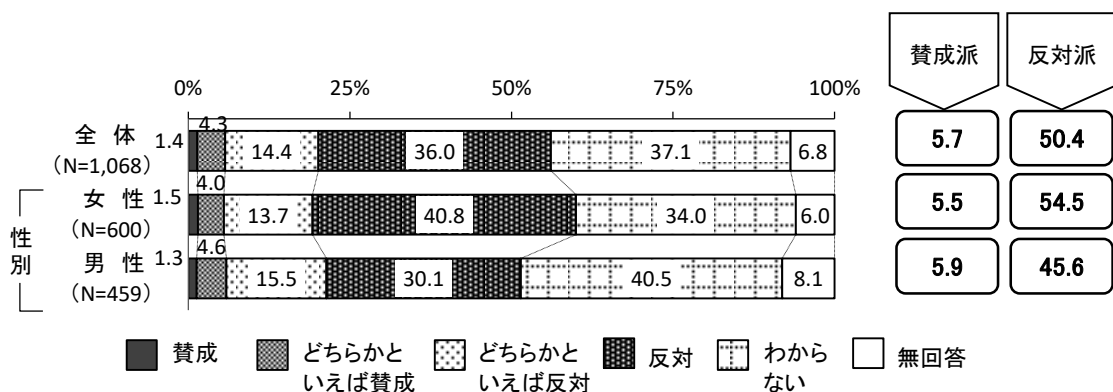
性別役割分担意識別でみると、男女とも反対する人の方が『賛成派』の割合が高く、特に積極的な「賛成」の割合は、反対する人ほど割合が高くなるなど顕著にあらわれている。

図表3-4 男の子も女の子も同等に炊事・掃除・洗濯など、生活に必要な技術を身につけさせる方がよい〔全体、年代別、性別役割分担意識別〕

		標本数	賛成	いどちらばらか成と	いどちらばらか対と	反対	わからない	無回答	賛成派	反対派
全体		1,068	606	323	29	4	36	70	929	33
		100.0	56.7	30.2	2.7	0.4	3.4	6.6	86.9	3.1
年代別	女性:20代	51	76.5	21.6	-	-	2.0	-	98.1	-
	女性:30代	68	76.5	17.6	-	-	2.9	2.9	94.1	-
	女性:40代	75	74.7	21.3	1.3	-	2.7	-	96.0	1.3
	女性:50代	93	75.3	18.3	2.2	-	1.1	3.2	93.6	2.2
	女性:60代	146	63.7	26.7	2.1	-	4.1	3.4	90.4	2.1
	女性:70代以上	153	44.4	33.3	3.3	-	3.9	15.0	77.7	3.3
	男性:20代	44	52.3	25.0	4.5	-	4.5	13.6	77.3	4.5
	男性:30代	42	66.7	19.0	2.4	-	7.1	4.8	85.7	2.4
	男性:40代	71	45.1	35.2	2.8	4.2	5.6	7.0	80.3	7.0
	男性:50代	82	46.3	42.7	3.7	-	3.7	3.7	89.0	3.7
	男性:60代	107	46.7	36.4	4.7	0.9	1.9	9.3	83.1	5.6
	男性:70代以上	101	38.6	45.5	3.0	-	4.0	8.9	84.1	3.0
	無回答	35	51.4	37.1	5.7	-	-	5.7	88.5	5.7
性別役割分担意識別	女性:賛成	18	50.0	16.7	5.6	-	5.6	22.2	66.7	5.6
	女性:どちらかといえば賛成	137	51.1	35.8	3.6	-	2.9	6.6	86.9	3.6
	女性:どちらかといえば反対	208	66.8	30.3	-	-	0.5	2.4	97.1	-
	女性:反対	162	79.6	9.9	1.9	-	2.5	6.2	89.5	1.9
	女性:わからない	74	51.4	24.3	4.1	-	10.8	9.5	75.7	4.1
	男性:賛成	20	10.0	45.0	15.0	10.0	5.0	15.0	55.0	25.0
	男性:どちらかといえば賛成	149	42.3	42.3	4.0	1.3	2.7	7.4	84.6	5.3
	男性:どちらかといえば反対	126	52.4	34.9	2.4	-	2.4	7.9	87.3	2.4
	男性:反対	76	72.4	21.1	-	-	2.6	3.9	93.5	-
	男性:わからない	83	34.9	42.2	6.0	-	8.4	8.4	77.1	6.0
無回答	15	40.0	46.7	-	-	6.7	6.7	86.7	-	

③男の子は理科系、女の子は文科系に進んだほうがよい

図表3-5 男の子は理科系、女の子は文科系に進んだほうがよい〔全体、性別〕



「男の子は理科系、女の子は文科系に進んだほうがよい」については、「わからない」が37.1%となっている。「反対」は36.0%、「どちらかといえば反対」は14.4%で『反対派』は50.4%に対し、『賛成派』（「賛成」1.4%、「どちらかといえば賛成」4.3%）は5.7%である。

性別で見ると、積極的な「反対」は女性が40.8%で男性（30.1%）を10.7ポイント上回り、男性は「わからない」（女性34.0%、男性40.5%）が女性を6.5ポイント上回っている。

Ⅲ 調査結果

年代別でみると、女性の30代と男性の50代を除いた年代では「わからない」が4割台と高い。女性の20代は積極的な「反対」が62.7%と最も高く、40代と50代でも5割前後と高い。

性別役割分担意識別でみると、男女とも反対する人ほど積極的な「反対」の割合が高く、賛成する人は「わからない」の割合が高い傾向がみられる。

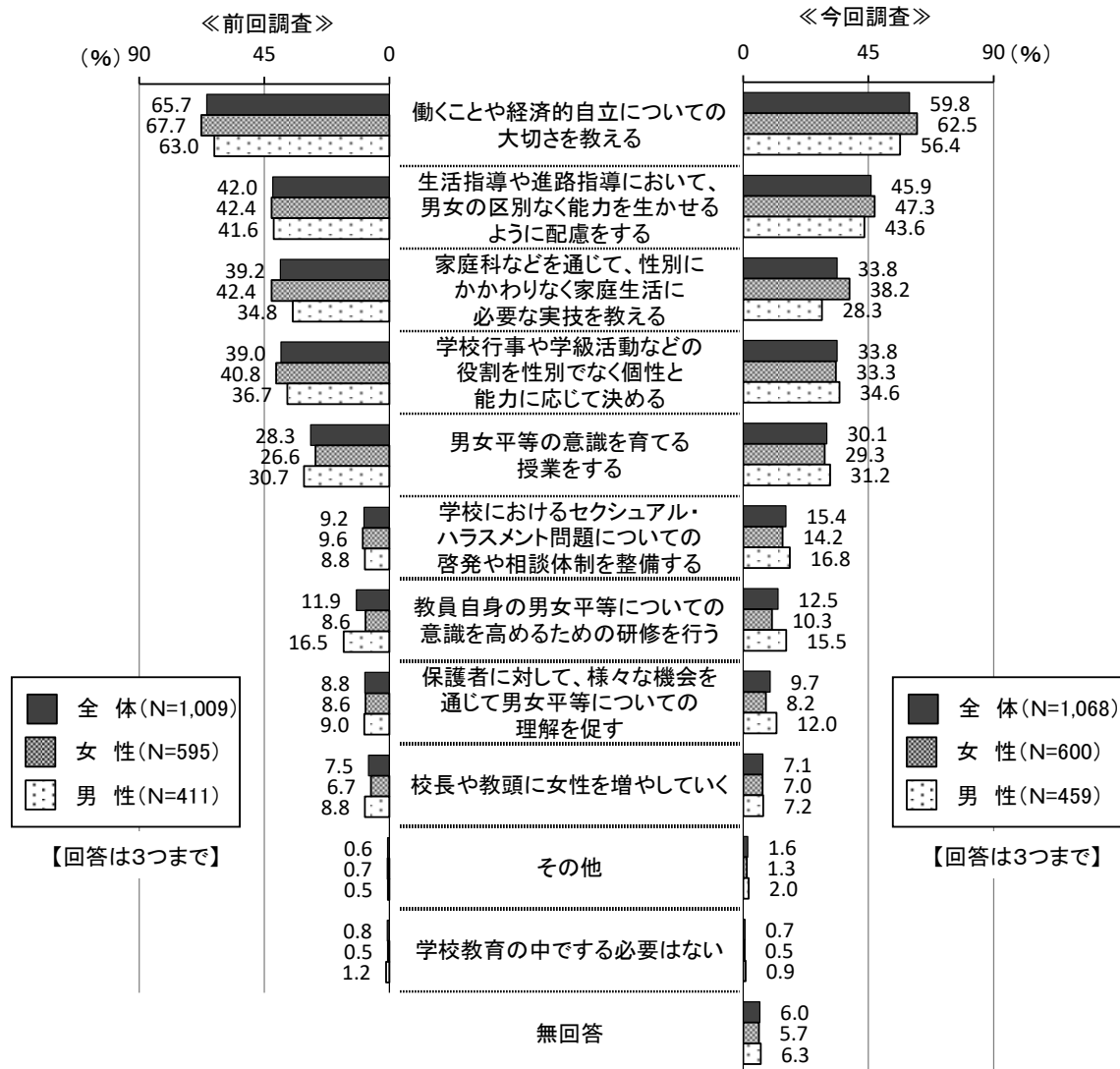
図表3-6 男の子は理科系、女の子は文科系に進んだほうがよい〔全体、年代別、性別役割分担意識別〕

		標本数	賛成	いど えち ばら 賛か 成と	いど えち ばら 反か 対と	反 対	わ か ら な い	無 回 答	賛 成 派	反 対 派
全 体		1,068 100.0	15 1.4	46 4.3	154 14.4	384 36.0	396 37.1	73 6.8	61 5.7	538 50.4
年 代 別	女性:20代	51	-	2.0	11.8	62.7	23.5	-	2.0	74.5
	女性:30代	68	1.5	-	5.9	45.6	44.1	2.9	1.5	51.5
	女性:40代	75	-	1.3	10.7	53.3	34.7	-	1.3	64.0
	女性:50代	93	-	3.2	12.9	49.5	31.2	3.2	3.2	62.4
	女性:60代	146	1.4	2.7	17.1	38.4	36.3	4.1	4.1	55.5
	女性:70代以上	153	3.9	9.2	17.0	22.9	32.0	15.0	13.1	39.9
	男性:20代	44	-	2.3	11.4	31.8	40.9	13.6	2.3	43.2
	男性:30代	42	-	4.8	11.9	33.3	45.2	4.8	4.8	45.2
	男性:40代	71	1.4	1.4	15.5	26.8	46.5	8.5	2.8	42.3
	男性:50代	82	-	7.3	19.5	41.5	26.8	4.9	7.3	61.0
	男性:60代	107	1.9	3.7	15.0	28.0	42.1	9.3	5.6	43.0
	男性:70代以上	101	3.0	6.9	14.9	21.8	44.6	8.9	9.9	36.7
	無回答	35	-	5.7	14.3	31.4	42.9	5.7	5.7	45.7
性 別 役 割 分 担 意 識 別	女性:賛成	18	5.6	5.6	11.1	11.1	44.4	22.2	11.2	22.2
	女性:どちらかといえば賛成	137	2.9	10.2	11.7	26.3	42.3	6.6	13.1	38.0
	女性:どちらかといえば反対	208	1.0	3.4	20.2	42.8	29.8	2.9	4.4	63.0
	女性:反対	162	-	0.6	9.9	61.1	22.2	6.2	0.6	71.0
	女性:わからない	74	2.7	1.4	8.1	25.7	52.7	9.5	4.1	33.8
	男性:賛成	20	10.0	5.0	25.0	15.0	30.0	15.0	15.0	40.0
	男性:どちらかといえば賛成	149	0.7	8.1	18.1	23.5	40.9	8.7	8.8	41.6
	男性:どちらかといえば反対	126	1.6	5.6	20.6	30.2	34.1	7.9	7.2	50.8
	男性:反対	76	-	-	9.2	59.2	27.6	3.9	-	68.4
	男性:わからない	83	1.2	-	6.0	20.5	63.9	8.4	1.2	26.5
	無回答	15	-	13.3	13.3	6.7	60.0	6.7	13.3	20.0

(2) 学校教育のなかで男女平等をすすめるために力を入れること

問7. あなたは、学校教育のなかで男女平等をすすめるために、小・中・高等学校で特にどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(〇印は3つまで)

図表3-7 学校教育のなかで男女平等をすすめるために力を入れること〔全体、性別〕(前回調査比較)



学校教育の中で男女平等をすすめるために特に力を入れることは、「働くことや経済的自立についての大切さを教える」が 59.8%で最も高く、次いで「生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるように配慮をする」が 45.9%、「家庭科などを通じて、性別にかかわらず家庭生活に必要な実技を教える」と「学校行事や学級活動などの役割を性別でなく個性と能力に応じて決める」が同率の 33.8%である。

性別で見ると、女性は「働くことや経済的自立についての大切さを教える」「生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるように配慮をする」「家庭科などを通じて、性別にかかわらず家庭生活に必要な実技を教える」などが男性よりも割合が高く、特に「家庭科などを通じて、性別にかかわらず家庭生活に必要な実技を教える」は 38.2%で男性 (28.3%) を 9.9 ポイント上回っている。

Ⅲ 調査結果

前回調査と比べると、2位の「生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるように配慮をする」と5位の「男女平等の意識を育てる授業をする」は女性でやや割合が高く、また「学校におけるセクシュアル・ハラスメント問題についての啓発や相談体制を整備する」は男女とも約5～8ポイント割合が高くなっている。

年代別でみると、「働くことや経済的自立についての大切さを教える」は女性の40代から60代、男性の30代で6割半ばから7割半ばと高く、「生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるように配慮をする」は女性の20代と男性の70代以上で5割を超えている。「家庭科などを通じて、性別にかかわらず家庭生活に必要な実技を教える」は女性では年代が低い層で割合が高くなる傾向がある。「学校におけるセクシュアル・ハラスメント問題についての啓発や相談体制を整備する」は男女とも年代が高い層で割合が高い。

図表3-8 学校教育のなかで男女平等をすすめるために力を入れること〔全体、年代別〕

		(%)															
		を男女平等の意識を育てる授業	て働くことや経済的自立について	なか家庭科などを通じて、性別に必要な実技を教える	応じて性別事や学級活動など能力に役	学校行事や個性などをい	かせるよう区別なく配慮する	生活指導や進路指導におい	行の教員自身を高めるための研修を	理解を促す男女平等に様々な機会	を保護者に対して、様々な機会	いく校長や教頭に女性を増やして	啓発や相談体制を整備する	学校におけるセクシュアル・	その他	い学校教育の中でする必要はな	無回答
全体	1,068 100.0	321 30.1	639 59.8	361 33.8	361 33.8	490 45.9	134 12.5	104 9.7	76 7.1	164 15.4	17 1.6	7 0.7	64 6.0				
年代別	女性:20代	51 35.3	52.9 61.8	56.9 48.5	43.1 42.6	54.9 44.1	5.9 11.8	3.9 7.4	7.8 7.4	11.8 14.7	3.9 2.9	-	-	-	-	-	-
	女性:30代	68 25.0	74.7 64.5	54.7 40.9	37.3 39.8	40.0 46.2	8.0 12.9	5.3 7.5	10.7 7.5	13.3 9.7	1.3 2.2	-	-	-	-	-	-
	女性:40代	75 21.3	63.0 60.8	33.6 21.6	26.0 27.5	49.3 49.0	13.7 7.2	11.6 7.8	5.5 5.9	17.1 16.3	0.7 -	-	-	-	-	-	-
	女性:50代	93 32.3	47.7 29.5	29.5 60.8	21.6 27.5	27.5 27.5	49.0 49.0	7.2 7.2	7.8 7.8	5.9 5.9	16.3 16.3	-	-	-	-	-	-
	女性:60代	146 29.5	47.7 60.8	29.5 60.8	21.6 27.5	27.5 27.5	49.0 49.0	7.2 7.2	7.8 7.8	5.9 5.9	16.3 16.3	-	-	-	-	-	-
	女性:70代以上	153 30.1	47.7 60.8	29.5 60.8	21.6 27.5	27.5 27.5	49.0 49.0	7.2 7.2	7.8 7.8	5.9 5.9	16.3 16.3	-	-	-	-	-	-
	男性:20代	44 25.0	47.7 60.8	29.5 60.8	21.6 27.5	27.5 27.5	49.0 49.0	7.2 7.2	7.8 7.8	5.9 5.9	16.3 16.3	-	-	-	-	-	-
	男性:30代	42 31.0	47.7 60.8	29.5 60.8	21.6 27.5	27.5 27.5	49.0 49.0	7.2 7.2	7.8 7.8	5.9 5.9	16.3 16.3	-	-	-	-	-	-
	男性:40代	71 31.0	47.7 60.8	29.5 60.8	21.6 27.5	27.5 27.5	49.0 49.0	7.2 7.2	7.8 7.8	5.9 5.9	16.3 16.3	-	-	-	-	-	-
	男性:50代	82 30.5	47.7 60.8	29.5 60.8	21.6 27.5	27.5 27.5	49.0 49.0	7.2 7.2	7.8 7.8	5.9 5.9	16.3 16.3	-	-	-	-	-	-
	男性:60代	107 34.6	47.7 60.8	29.5 60.8	21.6 27.5	27.5 27.5	49.0 49.0	7.2 7.2	7.8 7.8	5.9 5.9	16.3 16.3	-	-	-	-	-	-
男性:70代以上	101 28.7	47.7 60.8	29.5 60.8	21.6 27.5	27.5 27.5	49.0 49.0	7.2 7.2	7.8 7.8	5.9 5.9	16.3 16.3	-	-	-	-	-	-	
無回答	35 40.0	47.7 60.8	29.5 60.8	21.6 27.5	27.5 27.5	49.0 49.0	7.2 7.2	7.8 7.8	5.9 5.9	16.3 16.3	-	-	-	-	-	-	